

世界バラ会議福山大会基本方針（案）に対する
パブリックコメントの結果について

市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

世界バラ会議福山大会基本方針（案）に対するパブリックコメントの実施概要

1 意見の募集期間

2019年（平成31年）2月19日（火）～2019年（平成31年）3月20日（水）

2 対象者

- (1) 市内に住所を有する方
- (2) 市内に事業所又は事務所を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 市内に存する事務所又は事業所に勤務する方
- (4) 市内に存する学校に在学する方
- (5) その他、当該案件に利害関係を有すると認められる方

3 周知方法

市のホームページ、広報紙 など

4 閲覧場所

- (1) 市のホームページ
- (2) 市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課（市民参画センター内）
- (3) 市政情報室（本庁舎3階）
- (4) 支所・分所・分室
- (5) 中部生涯学習センター，南部生涯学習センター
- (6) 公民館・交流館・コミュニティセンター・館

5 意見募集結果

- (1) 提出数 21件（個人21件）

<内訳> ・持参 : 18件
・ファックス : 2件
・郵送 : 1件

- (2) 意見件数 27件

<内訳> ・市の考え方を説明するもの : 25件
・意見としてお受けするもの : 2件

※1通の意見に複数の内容が記載されている場合は、それぞれの内容ごとに整理

○世界バラ会議福山大会基本方針（案）に対する住民意見の要旨と市の考え方

(1) 市の考え方を説明するもの (25件)

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
1	名称	「世界バラ会議」の上段に「ばらの祭典」と入れ、大きく印象づけるよう、また、なじみやすくするように飾る感じにアピールしてはどうか。	名称については固有名詞のため変更はできませんが、PRについては、キャッチフレーズを入れるなど工夫し、親しみを持って大会に参加していただけるよう取り組んで参ります。
2	名称	「世界バラ会議」という言葉は一般市民にとってかなり硬い印象を与えている。一般市民の気持ちを引き付けるような、メインタイトルに対し、サブタイトルを用意してはどうか。例えば「ローズフェスティバル in 福山」など。そうして世界会議をもっとアピールできればと思う。	また、大会が単に世界のばらの愛好家・専門家の集まりとならないよう、関連行事やイベントなども検討し、全国又は世界から来られる皆様楽しんでいただけるような大会としていきます。
3	6ページ みんなで盛り上げる “オール福山”で、ばらのまち福山を盛り上げる	今でも「福山ってばらなの？」と聞かれることがあり、福山SAや倉敷でも周知されていない。そもそも福山市がどの県にあるか分からない人も全国的に多いと思われる。これを機に思い切ったことをしてほしい。例えば、①ばらのラッピング電車・新幹線などを誕生させ、メディアに大きく取りあげてもら。内装もばらにこだわり話題性を高める。②STU48などメディアが話題にしてくれそうなアイドル・タレントに協力を求める(ばらのアクセサリや香水などはばらグッズも使ってもら)。③ばらの聖地みたいなものを新たに作る(SNS発信)。④市内ではばらにちなんだ商品、イベントに全て共通ポイント(シール)を付けて特典を付ける。(抽選券やカーブ戦チケット、割引券など) ばらグッズも多く活用してほしいのでそのための協力はしたい。	世界バラ会議福山大会を契機として、福山の知名度の向上、ブランド力の向上にもつなげていきたいと考えております。具体的な取組につきましては、いただいたご意見を参考としながら、今後策定を行う「世界バラ会議福山大会基本計画」の中で、議論・検討してまいります。
4	6ページ みんなで盛り上げる “オール福山”で、ばらのまち福山を盛り上げる	ばらの無料配布が行われ、ばらが市民の生活の中に浸透しているように思われているが、全体としては、一部の愛好的なものの一つという認識の方が多く感じる。世界バラ会議をみんなで創り上げていくために市民へのアピールをしてほしい。市の広報に毎号「どんなことか」「福山市として頑張らしましょう」など会議が身近に思えるような広報が必要だと思う。	永年にわたるばらのまちづくりの取り組みによりばらの輪が広がり多くの市民の手によりばらが育てられています。これまで、ばらの栽培を中心に活動に取り組んできましたが、今後は香りをはじめ、ばらの持つ様々な特色等の視点も加えばらの魅力を創出していきたいと考えています。世界バラ会議の開催に向けた周知とあわせこうした取り組みを広報・PRすることで市民参加が図れるよう努めていきます。

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
5	6ページ みんなで盛り上げる “オール福山”で、ばらのまち福山を盛り上げる	私たちに何ができるのか。どうすれば良いのか。福山の特徴が出されるようにポイントを絞って示した方が、私たちも行動が起こしやすい。	100万本のばらのまちづくりに向けては、指針となる「ばらのアクションプラン」を作成し、市民と行政の役割を明確にし、取組を進めてまいりました。 今後も世界バラ会議に向け、協働を基本とし、市民の皆様のご意見を伺いながら、一体となって準備を進めてまいります。
6	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらのまち福山へ	市内各所に公園、学校、事業所等のばら花壇が多数あるが、世界大会に向けてばら花壇としてアピールできる公園（拠点）を作ってはどうか。	世界バラ会議福山大会に向けて、既設公園の充実を図ってまいります。
7	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらのまち福山へ	ローズロードと名前がついているだけで、どこ？という感じで、発想はすごく良いので、もっとレベルアップしてほしい。福山のどこを歩いても、ばらの香りや色などから華やかな雰囲気が漂うまちになればと思う。福山のまち全体がローズガーデンとなるように。 行政の計画・方向性がはっきりすれば、私たちもどこまでお手伝いできるか本気で考え、実行に移していきたい。	ローズロードは、2016年、市制施行100周年の記念事業として位置づけ整備したものです。整備に当たっては、沿線上の商店街や地域の皆様のご協力をいただき、ばらのプランター等の設置やイベントでのPR等を行ってまいりました。 世界バラ会議に向け、JR福山駅前の広場も併せ、ローズロードを整備し、世界の皆様をお迎えできるよう検討してまいります。
8	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらのまち福山へ 9ページ レガシー3 「新しい協働」の形から、市民が誇れるばらのまち福山に	ばら公園は、世界バラ会連合の優秀庭園賞を受賞しているので、みんなが誇れるばら園になるよう整備をしてほしい。	ばら公園は、戦後の復興を願い、市民が1,000本のばら苗を植え付けた場所であり、ばらのまちづくりが始まった原点と位置づけられている公園であるとともに、市民から親しまれ、世界に誇れるばら園であると認識しております。 大会では、市民が主体となったばらのまちづくりの歴史を世界に伝えられるように、園内の充実を図ってまいります。

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
9	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	<p>このような施設の早期実現を希望します。基本方針のコンセプトにある、みんなで創る、みんなで盛り上げる、みんなで輝くためにも早期に計画し、2～3年前には施設の完成が望ましいと思う。</p> <p>なぜなら、現在ばらのまち福山というキャッチは表面に出ているが、市民の内外には浸透していないように思える。このままだと大会があるんだという他人事で終わってしまうのではないか。</p> <p>今回の基本方針を実りあるものにするために、まず、ばらが何なのかを充分理解して、ばらのまち福山を誇りに思えるようになることにより、国内外からのお客様におもてなしが行き届いていくようになると思う。</p> <p>施設は恒久的に進化していくべきで、ばらについての研究ができれば、福山から世界中に情報の発信ができるようになるかと思う。この施設があることでばらの咲かない季節でも日本中いや世界中から福山を訪れる人が増加すると思う。</p>	<p>本市のばらのまちづくりは、市民が中心となって1,000本のばらを植栽したことからは始まり、市民と行政との協働により60年の歳月をかけ100万本のばらのまちが実現いたしました。</p> <p>これまで、市民の主体的な市民活動が中心となり取り組まれてきましたが、今後はこうした活動を軸として、100万本達成後の新たなまちづくりの取組も必要と考えております。</p> <p>そのため、今回いただきましたご意見等も十分に参考にさせていただきながら、世界バラ会議を契機に「ばらのまち福山」を更に発展させ、発信していくための取組等について市民の皆様とともに検討してまいりたいと考えております。</p>
10	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	<p>ばらのまちらしい、新しいばらのガーデンと資料館（ミュージアム）の建設を要望する。ばらのまち福山というネームバリューはあるが、果たして中身はどうか。ばらとともに育んできた歴史を大事に、全てのレベルを上げていきたい。世界バラ会議に向かっていいスタートが切れるのではないか。市民がばらを意識し、みんなで世界の皆様をお迎えするために、ただばらが植えてあるだけではない、誇れるガーデンの建設をしてほしい。</p>	
11	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	<p>ばらに携わる者として、世界から来られるばら仲間たちに「さすがばらのまち」と印象強く思っていたきたい。世界バラ会議を機会に、新たに「未来を感じるローズパーク（ローズガーデン&ローズミュージアム）」ができたらと希望する。</p> <p>また、他都市にはない、地域花壇の多さを強みとして、更なるレベルアップを図るとともに、ローズロードも充実させ、ばらの美しさを感じてもらえるようにしてほしい。</p>	

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
1 2	<p>7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ</p>	<p>福山市は、市民や企業・学校で育てたばら花壇が市内じゅうにあるのが特徴であり、魅力であるが、ばらの世界大会を開催するのであれば、福山市の公園を充実させる必要がある。ガーデンツーリズムは、イギリスで定着したものだが、王立の公園、宮殿や城のガーデンや植物園がルートの核としてあり、その行程の中でプライベートガーデンに立ち寄ることで観光ルートとして成り立っている。</p> <p>以前、新聞でばら公園、緑町公園、春日池公園駅家公園など拠点公園を整備する？した？記事を見たことがある。まずはこのような公園にそれぞれ特徴をもたせ、公園の部署の創意や専門性を生かし、規模ではなく廻るという視点で整備を行うのが良いのではないか。そして、福山城（お城の公園、福寿会館の庭園）、軒の藤井厚二氏設計の後山山荘の庭、神勝寺などのルートを工夫し、歴史と観光地等が併せて楽しめるものにし、その中に市内のプライベートガーデンを組み込むことで魅力は倍増すると思う。また、核となる公園の充実の際には、市民の花壇との連携もお願いし、様々な情報や公園の部署の専門の方々の指導等いただきながらレベルアップができればと思う。</p> <p>現在でも市民や地域の花壇に訪ねてきた人に対して、飲み物の提供や説明、ばら談義等おもてなしを大事にしているプライベートガーデンもある。ばら公園等の市の公園も動物園や図書館のように職員の方々の企画により、楽しめる・憩える・学べる公園とすることで、市民のばらガーデンとの相乗効果が生まれると良いのではないか。</p>	<p>本市のばらのまちづくりは、市民が中心となって1,000本のばらを植栽したことからは始まり、市民と行政との協働により60年の歳月をかけ100万本のばらのまちが実現いたしました。</p> <p>これまで、市民の主体的な市民活動が中心となり取り組まれてきましたが、今後はこうした活動を軸として、100万本達成後の新たなまちづくりの取組も必要と考えております。</p> <p>そのため、今回いただきましたご意見等も十分に参考にさせていただきながら、世界バラ会議を契機に「ばらのまち福山」を更に発展させ、発信していくための取組等について市民の皆様とともに検討してまいりたいと考えております。</p>
1 3	<p>7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ 9ページ レガシー3 「新しい協働」の形から、市民が誇れるばらのまち福山に</p>	<p>福山のばら公園は、コーヒーを飲みながらゆっくりと憩える場所や日陰すらない状態である。もちろんショップもない。公園は大きいからいいというものではなく、「公園を訪れる人の気持ちにどう答えるか」だと思ふ。ぜひ、この大会をきっかけによりしく願うする。</p>	

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
14	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	新体育館は、駅から鞆の浦への関所のような位置にある。県外からの方々は車から楽しめ、市民は子どもから大人が出かけたくなるようなばらのある憩いの場所にしてもらいたい。現体育館の方でも良いと思う。ばら公園とは違ったガーデンやばらの資料館など、世界バラ会議の会場に使い、その後は市民の財産になるように無駄にならない開発をお願いしたい。	新体育館ができる旧競馬場跡地のエリアについては、「福山市営競馬場跡地利活用基本計画」に基づいて整備しているところ。ご意見のありました、公園、施設については、現在のところ考えておりません。
15	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	福山の他の県にないもの、それは地域花壇、これを充実したらどうか。現在、ばらは植えてあるが、それだけでなく各花壇が特徴のある花壇（レベルアップ、変化をつける）にしていけば、ばらのまち福山として自慢できるものになるのでは。同時に、学校花壇の充実、これも他の県ではあまり聞かない。大事に続けて誇れるようにしていくのが良いと思う。	本市のばらのまちづくりは、市内の至る所でばらが咲き誇るのが特徴であり、最大の魅力と認識しております。 各花壇の代表者や学校関係者、さらには福山ばら大学の修了生等と連携を図りながら、ばら花壇の充実に努めてまいります。
16	7ページ みんなで輝く さらに発展し、輝き続けるばらの まち福山へ	小学校、中学校、高校の校庭にばらがある光景も珍しいことだと思う。せっかく植栽したのであれば、地域やPTAの協力や子どもとばらの関わりなど、充実させていく手立てを考える必要があるのではないかと。 ある学校では教育の一環としてばらの授業があり、学校の歴史の中に、ばらが受け継がれ、子どもたちは心の中に「ローズマインド」や「故郷のばら」をしっかりと刻んでいる。そのようにばら教育から心の教育を続けているところもあるので、できないと否定するのではなく、取り組んでほしい。	福山市立の全幼稚園・小・中学校には、ばら花壇を整備するとともに「大好き！福山～ふるさと学習～」の中で、ばらの歴史等を学び、ばらの栽培と併せてローズマインドを育む取組を行っております。また、地域と学校が連携し、子どもたちと地域の皆様が一緒になってばらを育てている学校もあります。 今後もこうした取組をさらに推進し、ばらの充実に図るとともに、大人から子どもまで多くの市民参加により世界中の皆様をお迎えできるよう進めてまいります。

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
17	8ページ 福山大会のレガシー	<p>ばらのまち福山といっても、実際はばら公園と駅前のばらが目につくほどで、ばらを栽培している方以外は、ばらのまち？というレベルではないか。福山城や鞆の浦の知名度はいくらかアップしているが、これらにはそこに行かなければ味わえず市内で暮らす私たちには誇れるものであっても、生活にはさほど影響してこない。これに対し、ばらは身近に味わうことができ、ばらを楽しく育てることで心が豊かになり、思いやり・優しさ・助け合いの心「ローズマインド」を形成することができる。そういうばら花壇を増やすことでコミュニティ形成やまちづくり活動にもつながっていく。結果、ばらのまち福山はまち全体にばらが咲き誇る素敵なまちとなり「ばらが咲き誇る福山に住みたい!!」と、居住地としての価値を上げることができると思う。そのためには、ばら花壇作成のための補助金等を用意したり、ばらのことが理解できる施設を準備したりすることが必要だと思う。</p>	<p>本市のばらのまちづくりは、市民が中心となって1,000本のばらを植栽したことから始まり、市民と行政との協働により60年の歳月をかけ100万本のばらのまちが実現いたしました。</p> <p>これまで、市民の主体的な市民活動が中心となり取り組まれてきましたが、今後はこうした活動を軸として、100万本達成後の新たなまちづくりの取組も必要と考えております。</p> <p>そのため、今回いただきましたご意見等も十分に参考にさせていただきながら、世界バラ会議を契機に「ばらのまち福山」を更に発展させ、発信していくための要件や取組等について新たな視点から市民の皆様ともに検討してまいりますと考えております。</p>
18	8ページ レガシー1 世界的なプロジェクトへの参画と国際都市福山の実現	<p>福山市立大学を始め、法人立大学の研究機関に、ばらの新品種開発と栽培技術、さらには総合的な「ばらのまち福山」の発信を国内外に向けて行えるようにできないか。</p>	<p>世界バラ会議では、大会の記念ばらとして新たな品種の発表を行うこととしております。大学や専門機関、育種家の方などと検討し、発表に向けて進めていきたいと考えております。</p> <p>また、栽培技術の継承など人材育成につながる取組についても推進し、大会を契機にさらにばらのまち福山が発展できるよう取組を進めてまいります。</p> <p>国内外への情報発信・PRにつきましても、大会開催に向けての取組や準備の状況など効果的に発信してまいります。</p>

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
19	9ページ レガシー3 「新しい協働」の形から、市民が誇れるばらのまち福山に	市内の学校関係全てにばらが植栽されている市は珍しいので、現状を更に充実させてほしい。学校の委員会を利用し、ばらの育成の知識や技術を学ぶ出前講座を学校技術員（泉ブロック）で実施しているが、全校対象ではない。担当課からも働きかけ、学校花壇の充実を図り、教育面からの効用も高めていただきたい。	福山市立の全幼稚園・小・中学校には、ばら花壇を整備するとともに「大好き！福山～ふるさと学習～」の中で、ばらの歴史等を学び、ばらの栽培と併せてローズマインドを育む取組を行っております。また、地域と学校が連携し、子どもたちと地域の皆様と一緒にばらを育てている学校もあります。 今後もこうした取組をさらに推進し、ばらの充実を図るとともに、大人から子どもまで多くの市民参加により世界中の皆様をお迎えできるよう進めてまいります。
20	9ページ レガシー3 「新しい協働」の形から、市民が誇れるばらのまち福山に	「広島バラ園」の開発した「I CAN」を「平和宣言都市福山」のまち全てに広げる栽培に尽力していただきたい。平和の基本は人権尊重にあります。人権尊重のまちづくりの視点からも強く望みます。「I CAN」の言語がちまたに拡大するまちづくりに役立つと考えます。ホロコーストの「アンネのばら」も広めたいと思っています。	福山のばらのまちづくりは、戦後の復興や平和への願いを込めて1,000本のばらを植えたことから始まったもので、市民一人一人の思いが込められた100万本のばらがまち全体に咲き誇る姿は、平和の尊さが実感いただけるものと考えております。また、ばらを愛し、育てることで人やまちを思いやり大切にする心「ローズマインド」も育まれてきました。 「ピース」や「I CAN」、「アンネのばら」などこうした品種のばらの活用も図る中で、福山そして被爆地広島から平和へのメッセージが発信できる大会となるよう関係団体や市民の皆様のご協力をいただく中で取り組んでまいります。
21	9ページ レガシー2 ばらのまち福山の観光や産業の振興	これほどの世界的なばらの大会は、今回が最初で最後になると思う。歴史的な大会の開催の証を後世まで残し伝えていく必要がある。そのためにもぜひ、新たな公園でもリニューアルでもかまわないが「記念公園」を残していただきたい。市の100周年のときは、記念として残ったものがあつたのかどうか分からないが、イベントで終わったような気がする。	世界バラ会議福山大会は、世界中のばらの関係者が注目する世界的なばらの祭典となる大会です。この大会の開催を一過性のイベントとして終わらせるのではなく、大会の開催を契機に、まちや人々にもたらされる効果や成果を大会開催後もしっかりと引き継ぎ、有形・無形のものに関わらずレガシーとして後世に残していけるよう取り組んでまいります。

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
2 2	1 2 ページ ロードマップ	<p>項目の欄に「花壇の配置・整備」を入れること。ばらが咲き誇るまち福山のばらを誰が、どこに、どのようにして植栽するのか。地域・学校・公民館、国道を始めとした道路など、まずは福山市のばら花壇の実情を把握してはどうか。ばらの完成形には、3～5年の歳月が必要。すぐにでも植栽・管理について、具体的に進めていくのが良いでしょう。立派なイベントを行うためには、立派なばらを育てなくてはならない。そこから全てが始まるのではないか。</p>	<p>本市では「ばらのアクションプラン」に基づき、地域のばら花壇を始め、学校・公民館等の公共施設、国道・県道等の幹線道路など実情の把握を行い、計画的に100万本のばらのまち実現に向けた取組を進めてまいりました。今後、こうしたばらの状況等を確認する中で、ばらの補てん等にも取り組み、維持管理に努めるとともに、世界バラ会議をめざしたロードマップにある「環境整備インバウンドインフラ」の項目のスケジュールに沿い、ばらの成長等踏まえ、計画的に市民と行政が一体となりばらの充実を進めてまいります。</p>
2 3	1 2 ページ ロードマップ	<p>準備委員会から実行委員会へ移行が遅い気がする。もう実行委員会になってもいいと思う。しっかりとばらを把握できている人、計画をしっかりと立てられる人など、多方面から代表を出されての委員会を早く作っていただきたい。名前だけの方ではなく、きちんと行動に移せる方を望む。</p>	<p>準備委員会は、計画を策定する委員会、実行委員会は、その計画を実行していく委員会と位置付けております。2019年度には、基本計画の策定を予定しており、実行委員会の構成メンバー等も含めて検討してまいります。</p>
2 4	1 2 ページ ロードマップ	<p>みんなで創る、みんなで盛り上げるためには、早急に実行委員会を立ち上げて市民にアピールすることが大切だと思われる。</p>	
2 5	1 2 ページ ロードマップ	<p>2020年に実行委員会を立ち上げることになっているが、もう1年早めた方が良いのでは。</p> <p>今回の世界バラ会議を行政だけでなく、シビックプライドの醸成も考え市民も巻き込み開催するには、ばら栽培の市民だけでなく、おもてなしボランティアや外国語対応ガイドの育成など早めに市民の組織を立ち上げないといけないと思う。</p> <p>また、大会開催後もレガシーとして残していくためにも日本国内はもとより世界に情報発信できる大会記念の施設を設置する必要があると考える。そのためにもその施設整備の事業計画を、専門家を入れて早い段階で検討する必要がある。検討する施設はばらのまち福山を世界に向けて発信させるものとしたい。</p>	

(2) 意見としてお受けするもの (2件)

番号	該当箇所	意見の要旨
1	—	ばら祭当日がいつも学区で行う大そうじの日になっており、ばら祭に行けないと思う。別の日にできないのか疑問。
2		ローズアリーナは世界バラ会議の会場としては不可欠。ばら公園とローズアリーナを中心とした「ばらのまち福山」を代表する位置にあり、年中プールに変わると支障が出ると思われる。会場を振り分けると、これまで展示やイベント、パレードの終点など、いい流れが崩れてしまうと思われる。